

別冊保存版

水道凍結対策

こちらのページから6ページまでは取り外して、手の届く場所に保存しておくことをおすすめします。

冬は水道管の凍結のトラブルが多くなる季節です。

対処法と合わせて、指定給水装置工事事業者の連絡先も確認しておきましょう。

また、アパートや賃貸にお住まいの方は、凍結や漏水が発生したら、工事業者に連絡する前に管理会社や貸主（大家さん）などへ対応方法について相談しましょう。

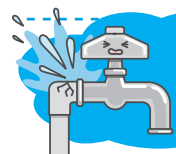
3P 水道凍結対策

4～5P 滝沢市指定給水装置工事事業者一覧表

6P 年末年始・土日祝日の凍結解凍指定給水装置工事事業者当番表

自分で解凍を試みる場合

- 凍結している箇所の水道管や蛇口にタオルやふきんなどの布を巻きつけます。
 - 蛇口を開きます。
 - 50℃程度のぬるま湯を用意し、巻きつけたタオルやふきんなどに染み込ませるようにゆっくりかけて解かします。
- ※水道管に直接熱湯をかけると、変形や割れる場合がありますので絶対にやめましょう。
- ※通常は水道管の中の氷が解けて出るようになるまで、何度かお湯をかけ続ける必要があります。

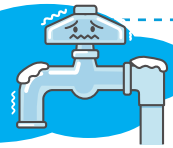


水道管が破裂して漏水が発生したとき

自分が所有している建物など

直接指定給水装置工事事業者（P4・5参照）に連絡し、修理を行ってください。

水道管が凍結してしまったとき



専門業者に解凍を依頼する場合

指定給水装置工事事業者に依頼すると、解凍作業終了後に水道管の破裂など凍結による漏水トラブルの確認をしてもらうことができます。

お住まいに近い事業者や土日祝に対応可能な事業者も確認しておきましょう。

※作業にかかる時間や料金は、凍結箇所や事業者によって異なります。

アパートや賃貸の場合

早急に管理会社や貸主（大家さん）に連絡し、指示を受けてください。

損害などは、家財保険が適用される場合もありますので、加入している保険会社の窓口で確認してください。

水道凍結に関する注意点

- 凍結した箇所を放置しない
修理が必要となっている箇所を放置すると、水道使用量が増えて、水道料金など（下水道使用料、ガス代など）が高額になってしまうことがあります。
- 水抜き栓・湯抜き栓の操作は完全に行う
水抜き栓を操作するときは、栓が回らなくなるまで操作しましょう。また、湯抜き栓の操作も忘れずに行いましょう。
完全に操作されていないと、地下に水が流れ出てしまい、水道使用量が増えてしまいます。
使用者側の操作誤りの場合は、漏水認定の対象になりませんので、十分注意しましょう。

【漏水認定について】

宅内の水道管の漏水については、お客様から市の「指定給水装置工事事業者」に連絡し、確認や修理の依頼をしていただきます。

工事事業者から上下水道部に報告された修理内容により、水道使用者の責任ではない漏水であると認められた場合は、一定の条件で通常の月と同程度に水量を減量認定する制度があります。

